

## 経営概況

### 2018年3月期 第1四半期の業績

当第1四半期連結累計期間(2017年4~6月)におけるわが国経済は、政府の経済政策、日銀の金融緩和等の効果もあり、雇用・所得環境の改善や個人消費に持ち直しの動きが見られ、緩やかな回復基調が続いております。一方、中国をはじめとするアジア新興国の経済情勢、米国新政権の政策動向等から、今後の景気については、先行き不透明な状況が続いております。

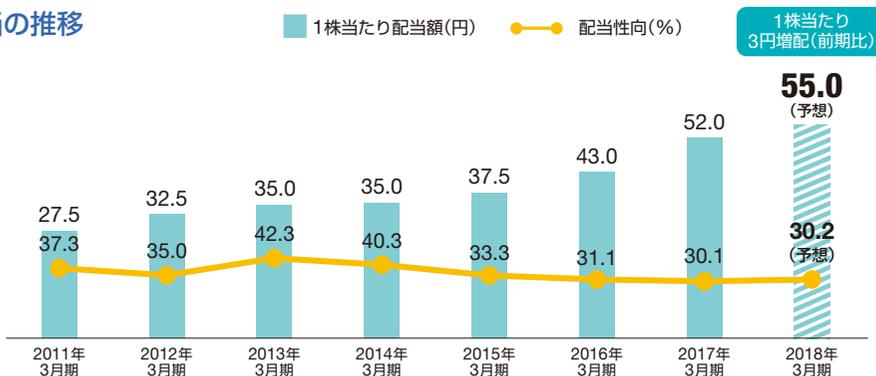
当社グループ(当社および連結子会社)の主な事業分野である携帯電話等販売市場では、スマートフォン販売の適正化に向けた取り組みが促進され、端末販売価格は安定いたしました。また、通信事業者のサブブランドやMVNO(仮想移動体通信事業者)の普及により、お客様の選択肢が広がりました。一方で、通信事業者は、ポイントサービスや通信以外のサービスへ事業領域を拡大しております。

このような事業環境下、当社グループの携帯電話等販売台数は、102万台と前年同期を上回り、スマートデバイスの販売比率は約8割となりました。

また、政府が掲げる「一億総活躍社会」の実現に向け、当社では、変形労働制を活用することによって、全社の生産性向上を図りました。店舗においては、ES向上や定着率アップに向けて、定休日の設定と営業時間の短縮も実施するなど、「働き方改革」を推進いたしました。一方、各事業セグメントにおいて新たな収益基盤の構築に努めました。

全社の当第1四半期連結累計期間における業績につきましては、売上高1,225億21百万円(前年同期比0.4%減)、営業利益24億91百万円(同6.3%減)、経常利益25億13百万円(同6.3%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益15億78百万円(同13.2%減)となりました。

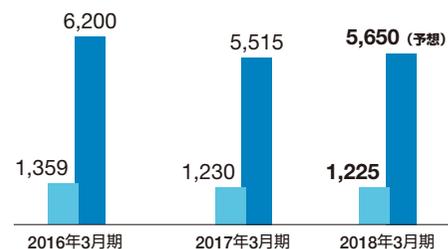
### 配当の推移



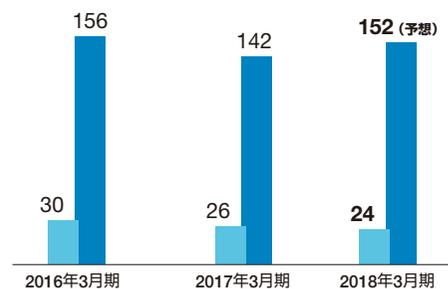
※上記の数値につきましては、過去に実施いたしました株式分割を勘案した数値を掲載しております。

## 第1四半期連結業績ハイライト

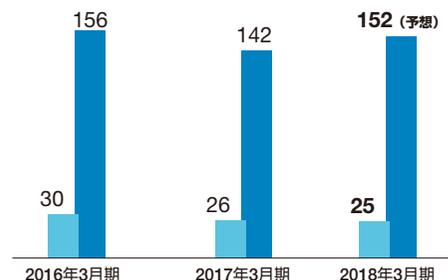
### 売上高 (億円)



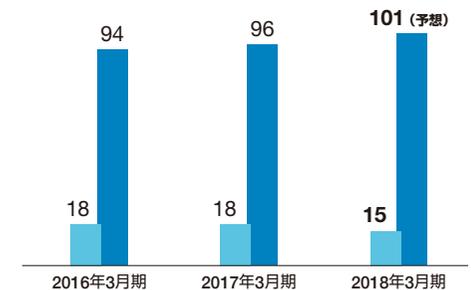
### 営業利益 (億円)



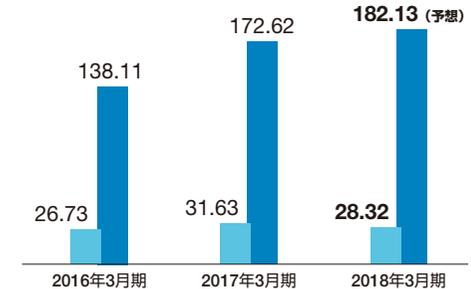
### 経常利益 (億円)



### 親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 (億円)



### 1株当たり四半期(当期)純利益 (円)



### 純資産 (億円)

